文　教　厚　生　委　員　会

令和８年 11 月４日（水）
10 時 00 分 ～　時　　分
全　員　協　議　会　室

【委　員】足立委員長、遠藤副委員長、
　　岡山委員、花田委員、森谷委員、串﨑委員、芦谷委員
【執行部】
　〔健康福祉部〕久保健康福祉部長、椋木健康医療保険課長、
　　龍河子ども・子育て支援課長、
　　小林子ども・子育て支援課子育て世代包括支援担当課長
　〔教　育　部〕久佐教育長、佐々木教育部長
　〔上下水道部〕草刈上下水道部長、大上下水道課長
【事務局】下間局長、佐々木書記

議　題

1　執行部報告事項
⑴　県西部の周産期医療提供体制について【健康医療保険課】【子ども・子育て支援課】
⑵　周布保育園の閉園について　【子ども・子育て支援課】
⑶　石見神楽保存・伝承拠点に関する協議経過について　【文化振興課神楽文化伝承室】
⑷　令和７年度末　汚水処理人口普及率　【下水道課】
⑸　その他

2　【取組課題】こどもの権利の推進について（委員間で協議）

3　その他
・【要望書】学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い

令 和 8 年 11 月 4 日
文 教 厚 生 委 員 会 資 料
健康福祉部 健 康 医 療 保 険 課
子ども・子育て支援課

県西部の周産期医療提供体制について

独立行政法人国立病院機構浜田医療センター及び益田赤十字病院では、島根大学医学部附属病院から産婦人科医師の派遣を受けて分娩対応を行っている。

しかし、附属病院においては、来年度の派遣医師の確保が難しいため、どちらかに派遣を集約することが検討されていた。

10 月 23 日、益田赤十字病院へ集約されることが明らかとなり、結果、益田赤十字病院では分娩を継続し、浜田医療センターにおいては当分の間、休止することとなった。

このことにより、県西部で分娩ができる施設は、公立邑智病院（邑南町）を含めてわずか 2 施設に減少する。

記

1　今後の浜田医療センターでの周産期医療の対応（見込み）

(1)　分娩休止時期　令和 9 年 4 月 1 日から当分の間

(2)　産婦人科体制　常勤及び非常勤医師の計 2 名体制

(3)　対応内容　妊婦健診等、分娩以外の対応は従前同様に実施

2　浜田市の対応案

(1)　妊婦等に対する通院交通費等の助成制度の創設（健康福祉部）

(2)　妊婦情報事前登録制度の創設（消防本部）

(3)　その他、保健師等による出産前後の指導助言等

3　その他

・浜田医療センターでの分娩早期再開に向けて、大学、病院、県とともに医師の確保・育成等に取り組んでいく。

・浜田医療圏（浜田市・江津市）を超えた広域での連携を進める。

令和８年１１月４日
文教厚生委員会資料
健康福祉部子ども・子育て支援課

周布保育園の閉園について

社会福祉法人周布福祉会が、令和８年度末をもって周布保育園を閉園することを決定されましたので、報告します。

1　経　緯

周布保育園では、近年園児数が減少し、運営継続のための検討をしてこられましたが、少子化の影響や地域環境、時代の変化等により、今年度末での閉園をやむを得ないと判断されました。

(1)　園児数の推移（各年４月１日現在）　　※定員 20 名

R3	R4	R5	R6	R7	R8
10	11	10	8	9	8

(2)　令和８年度園児数内訳

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	計
0	1	2	2	0	3	8

2　地域住民への周知

保護者説明会、及び評議員会、理事会における決定後、周布及び大麻地区の住民には説明文書を回覧（10 月末）することにより周知を行われました。

3　現周布保育園の園児について

現在入所している児童の保育環境が引き続き確保できるように進めていきます。

4　参　考

＜周布保育園の沿革＞

昭和 27 年　　専称寺（治和町）にて開園
昭和 30 年　　現在地（周布町）に移転
昭和 53 年４月　　社会福祉法人周布福祉会認可

～令和８年　開園してから 74 年目～

令和８年11月４日
文教厚生委員会資料
文　化　振　興　課

石見神楽保存・伝承拠点に関する協議経過について

「石見神楽保存・伝承拠点基本構想（案）」及び「浜田市歴史文化保存展示施設基本計画（案）」に基づき、石見神楽保存伝承拠点及び浜田郷土資料館の今後の方針を決定するにあたり、教育委員会では議論を重ねています。

その経過について、次のとおり報告します。

1　教育委員会定例会の開催状況について

令和８年７月24日　石見神楽保存・伝承拠点基本構想（案）の説明
令和８年８月20日　浜田市歴史文化保存展示施設基本計画（案）の説明
令和８年９月29日　石見神楽保存・伝承拠点に関する市民アンケート結果の説明
令和８年10月30日　意見交換

2　教育委員会定例会での主な意見について

教育委員会定例会では、各教育委員から次のような意見がありました。
なお、教育委員会としての統一的な見解の取りまとめには至っておりません。

・石見神楽保存・伝承拠点と浜田市歴史文化保存展示施設とでは、「展示機能」が重複しているため、整理が必要ではないか。
・基本構想（案）や基本計画（案）に示された機能を整理する必要があるため、（案）の内容をそのまま教育委員会の方針とするというわけにはいかないのではないか。
・石見神楽保存・伝承拠点については、アンケートでも意見があった既存施設の活用や複合化、機能の分散化も重要な視点ではないか。
・石見神楽保存・伝承拠点については、施設がなくても実現可能な機能があるのではないか。
・舞殿については、運営上、神楽団体の協力が鍵になるのではないか。

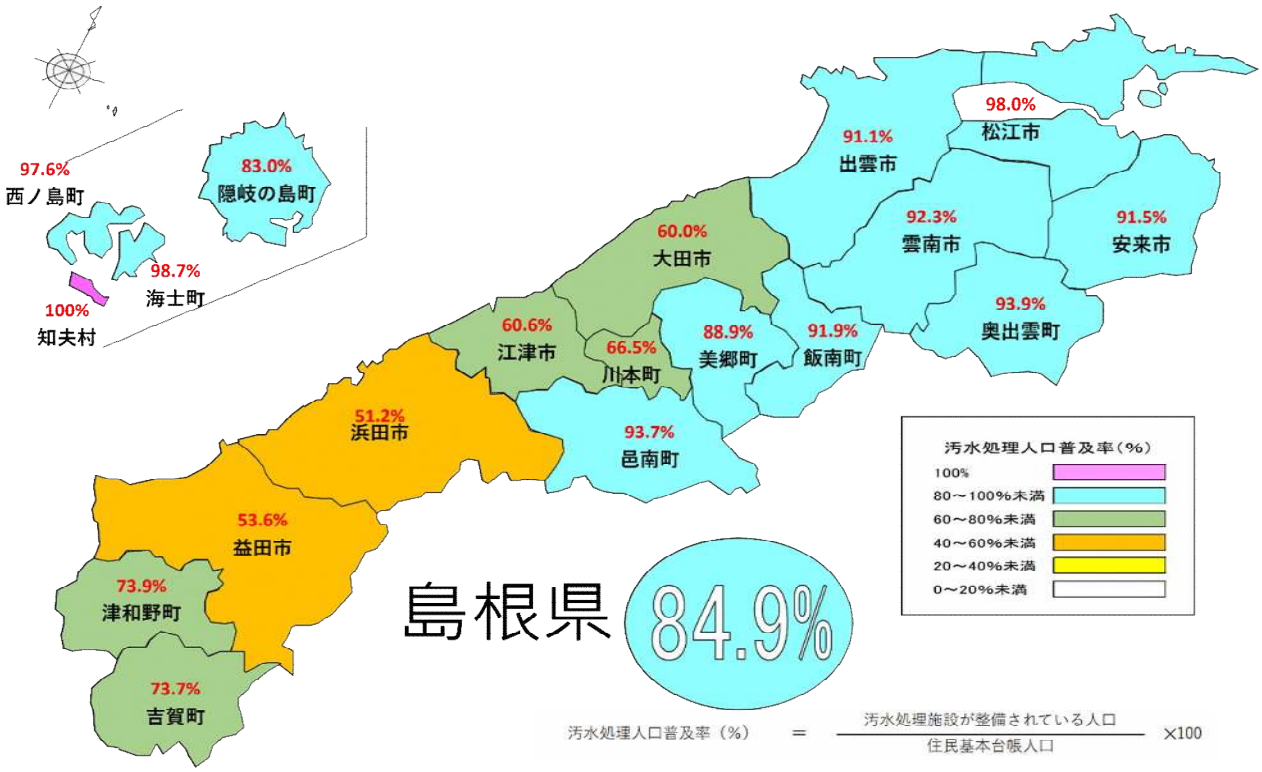
令和8年11月4日
文教厚生委員会資料
上下水道部　下水道課

令和７年度末　汚水処理人口普及率

・令和7年度の汚水処理人口普及率がまとまりましたので報告します。

	令和6年度末普及率		令和7年度末普及率
浜田市	50.6%	⟹	51.2%
島根県	84.4%	⟹	84.9%

令和７年度末　汚水処理人口普及率（市町村別）



令和７年度末　汚水処理人口普及率（整備手法別）

